Asset Management One

運 用 報 告 書（全体版）

Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年９月28日から無期限です。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券※と「ＤＩＡＭマネーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。なお、別に定める投資信託証券については、適宜見直しを行います。 ※別に定める投資信託証券：「Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラス」
運用方法	主として、わが国を含む世界の株式、債券、不動産投資信託証券、コモディティおよびそれらを投資対象とする上場投資信託証券（ＥＴＦ）を実質的な投資対象とする別に定める投資信託証券に投資します。なお、別に定める投資信託証券には、国内外の有価証券先物取引、オプション取引、スワップ取引等のデリバティブ取引および外国為替予約取引等を活用するものを含みます。 別に定める投資信託証券への投資割合は、原則として高位とすることを基本とします。 別に定める投資信託証券やその配分比率については、適宜見直しを行います。この際、投資対象として定められていた別に定める投資信託証券が投資対象から除外されたり、わが国を含む世界各国の様々な資産への分散投資に資すると判断される投資信託証券が新たな投資対象として定められることがあります。 １万口当たりの基準価額（過去に支払った収益分配金の金額は含みません。）が2,000円を下回った場合には、投資対象ファンドの売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎年１月、３月、５月、７月、９月および11月の各15日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 ※第１期（2018年11月15日）の決算は収益分配を行いません。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>
コールセンター：0120-104-694
受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

愛称：100年ギフト

第１期　<決算日　2018年11月15日>
第２期　<決算日　2019年 １ 月15日>
第３期　<決算日　2019年 ３ 月15日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）」は、2019年３月15日に第３期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-2
http://www.am-one.co.jp/

Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）

■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	基準価額 税込み分配金	基準価額 期中騰落率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
		円	円	%	%	百万円
第１作成期	(設定日) 2018年９月28日	10,000	－	－	－	1,628
	１期(2018年11月15日)	9,731	0	△2.7	97.2	2,065
	２期(2019年１月15日)	9,522	50	△1.6	97.0	2,390
	３期(2019年３月15日)	9,727	50	2.7	99.2	3,135

（注１）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
（注２）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注３）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。
（注４）「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。
（注５）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

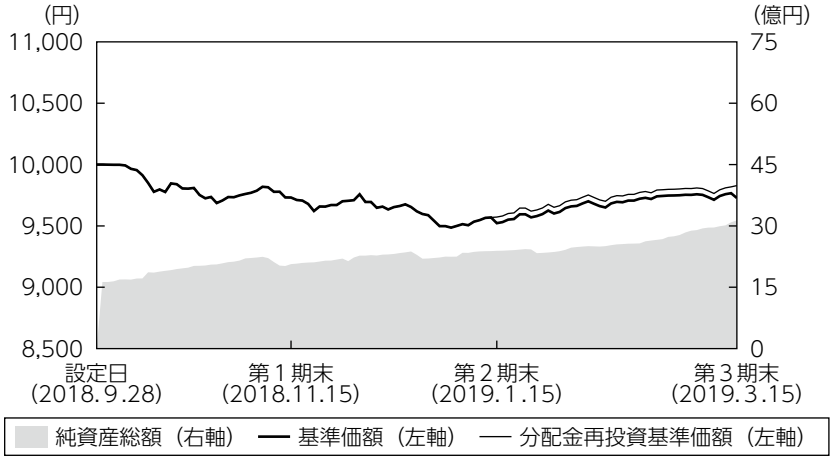
■当作成期中の基準価額の推移

決算期	年月日	基準価額	基準価額 騰落率	投資信託受益証券組入比率
		円	%	%
第１期	(設定日) 2018年９月28日	10,000	－	－
	10月末	9,735	△2.7	99.0
	(期末) 2018年11月15日	9,731	△2.7	97.2
第２期	(期首) 2018年11月15日	9,731	－	97.2
	11月末	9,705	△0.3	99.3
	12月末	9,500	△2.4	99.0
	(期末) 2019年１月15日	9,572	△1.6	97.0
第３期	(期首) 2019年１月15日	9,522	－	97.0
	１月末	9,645	1.3	99.3
	２月末	9,748	2.4	99.0
	(期末) 2019年３月15日	9,777	2.7	99.2

（注１）設定日の基準価額は、設定当初の金額です。
（注２）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比（第１期は設定日比）です。
（注３）「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第１期～第３期の運用経過（2018年９月28日から2019年３月15日まで）

基準価額等の推移



設　定　日：　10,000円
第３期末：　　9,727円
（既払分配金100円）
騰　落　率：　　△1.7%
（分配金再投資ベース）

（注）設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
（注４）分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
（注５）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

世界景気の減速や米中貿易摩擦への懸念などにより、先進国、新興国ともに国債利回りが低下（価格が上昇）したことはプラスに寄与したものの、2018年12月下旬にかけて下落した国内株式や先進国株式などがマイナスに寄与しました。また、主要通貨に対して円高が進行したことなどもマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅠ　Ｂクラス	△1.4%
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	△0.0%

（注）Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅠ　Ｂクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

2018年10月以降、世界景気の減速や米中貿易摩擦への懸念が広がり、12月下旬にかけて世界同時株安の展開となりました。一方、国内債券や先進国債券は安全資産として買われ、価格が上昇（金利が低下）しました。2019年１月以降は、ＦＲＢ（米連邦準備理事会）が利上げの休止を示唆したことや行き過ぎた懸念への反動もあり、各国の株式市場は回復基調となりました。

為替市場では、世界景気の減速懸念や英国のＥＵ（欧州連合）離脱問題などの政治リスクが意識され、2018年12月末にかけて主要通貨に対して円高が進行しました。2019年１月以降、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、為替市場は比較的安定して推移し、米欧当局が金融緩和の継続を示唆したこともあり、円安の進行は限定的でした。

国内短期金融市場では、３ヵ月物国庫短期証券利回りは△0.3％台～△0.1％台で推移するなど、レンジ内での推移となりました。米国の金融引き締めのペースはやや鈍化しつつありますが、日本の金融政策には変化がないことから国内短期金融市場への影響は限定的でした。

ポートフォリオについて

●当ファンド

Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラスの組入比率は原則として高位を維持し、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行いました。

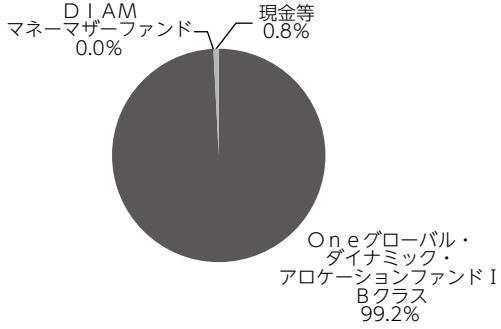
●Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラス

2018年10月以降、株価変動リスクの高まりや経済環境・市場環境の不透明感から株式等の収益追求資産およびハイイールド債券の比率を引き下げ、基準価額の下落抑制を図りました。2019年１月以降は、市場環境が堅調に推移したことなどから、株式等の収益追求資産の比率を引き上げ、相場回復の恩恵を享受しました。また、国内債券など利回りが低い資産については期を通じて配分を減らしています。

●ＤＩＡＭマネーマザーファンド

残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成（2019年３月15日現在）※比率は純資産総額に対する割合です。



分配金

当作成期の収益分配金につきましては分配方針に基づき、第１期は無分配、第２期～第３期は以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	第１期 2018年９月28日 ～2018年11月15日	第２期 2018年11月16日 ～2019年１月15日	第３期 2019年１月16日 ～2019年３月15日
当期分配金（税引前）	－円	50円	50円
対基準価額比率	－％	0.52％	0.51％
当期の収益	－円	50円	50円
当期の収益以外	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	236円	240円	251円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラスの組入比率は高位を維持します。また、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行います。

●Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラス

世界の幅広い資産にバランス良く分散投資するとともに、状況に応じた適切な資産配分を行うことにより、基準価額の相対的に安定した値動きと収益の確保をめざします。

●ＤＩＡＭマネーマザーファンド

日銀の金融政策の物価目標２％まではまだ距離があるため、当面は金融政策の据え置きが予想されています。今後もマイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組入れた運用を行っていきます。

■１万口当たりの費用明細

項目	第１期～第３期 (2018年９月28日 ～2019年３月15日) 金額	比率	項目の概要
(ａ) 信託報酬	34円	0.349%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,707円です。
(投信会社)	(11)	(0.110)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(22)	(0.225)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) その他費用	0	0.001	(ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	34	0.351	

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
（注４）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

■売買及び取引の状況（2018年９月28日から2019年３月15日まで）

投資信託受益証券

		第１期～第３期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国(邦貨建)	Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅠ　Ｂクラス	千口 349.284	千円 3,411,000	千口 21.103	千円 199,042

（注）金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年９月28日から2019年３月15日まで）

	第１期～第３期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	千口 99	千円 100	千口 －	千円 －

■利害関係人との取引状況等（2018年９月28日から2019年３月15日まで）

【Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【ＤＩＡＭマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決算期	第１期～第３期					
区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	343	202	58.9	200	－	－

平均保有割合　0.0%

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
750	－	650	100	当初設定時又は当初運用時における取得とその処分

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第１作成期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラス	328.181	3,109,843	99.2
合計	328.181	3,109,843	99.2

（注）比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第１作成期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	99	99

■投資信託財産の構成

2019年３月15日現在

項目	第１作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	3,109,843	93.5
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	214,648	6.5
投資信託財産総額	3,324,591	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	第１期末 (2018年11月15日)	第２期末 (2019年１月15日)	第３期末 (2019年３月15日)
(A) 資産	**2,263,094,691円**	**2,405,676,824円**	**3,324,591,820円**
コール・ローン等	165,421,913	86,224,346	214,648,684
投資信託受益証券(評価額)	2,007,986,994	2,319,352,488	3,109,843,156
ＤＩＡＭマネーマザーファンド(評価額)	100,000	99,990	99,980
未収入金	89,585,784	－	－
(B) 負債	**197,673,509**	**15,396,386**	**189,299,666**
未払金	－	－	170,000,000
未払収益分配金	－	12,550,703	16,116,793
未払解約金	195,730,000	－	－
未払信託報酬	1,935,652	2,834,179	3,169,991
その他未払費用	7,857	11,504	12,882
(C) 純資産総額(A－B)	**2,065,421,182**	**2,390,280,438**	**3,135,292,154**
元本	2,122,426,981	2,510,140,648	3,223,358,603
次期繰越損益金	△57,005,799	△119,860,210	△88,066,449
(D) 受益権総口数	**2,122,426,981口**	**2,510,140,648口**	**3,223,358,603口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**9,731円**	**9,522円**	**9,727円**

（注）設定当初の投資元本額は1,628,904,959円、当作成期間（第１期～第３期）中における追加設定元本額は2,269,716,351円、同解約元本額は675,262,707円です。

■損益の状況

項目	第1期 〔自 2018年9月28日 至 2018年11月15日〕	第2期 〔自 2018年11月16日 至 2019年1月15日〕	第3期 〔自 2019年1月16日 至 2019年3月15日〕
(A) 配当等収益	**49,921,493円**	**16,237,000円**	**19,327,524円**
受取配当金	49,941,652	16,252,470	19,338,605
受取利息	2	803	129
支払利息	△20,161	△16,273	△11,210
(B) 有価証券売買損益	**△93,598,729**	**△46,791,585**	**49,695,856**
売買益	9,630,071	1,875,231	50,497,788
売買損	△103,228,800	△48,666,816	△801,932
(C) 信託報酬等	**△1,943,509**	**△2,845,683**	**△3,182,873**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△45,620,745**	**△33,400,268**	**65,840,507**
(E) 前期繰越損益金	**－**	**△40,082,469**	**△81,860,005**
(F) 追加信託差損益金	**△11,385,054**	**△33,826,770**	**△55,930,158**
(配当等相当額)	(2,221,201)	(17,328,256)	(37,694,456)
(売買損益相当額)	(△13,606,255)	(△51,155,026)	(△93,624,614)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△57,005,799**	**△107,309,507**	**△71,949,656**
(H) 収益分配金	**－**	**△12,550,703**	**△16,116,793**
次期繰越損益金(G＋H)	**△57,005,799**	**△119,860,210**	**△88,066,449**
追加信託差損益金	△11,385,054	△33,826,770	△55,930,158
(配当等相当額)	(2,221,202)	(17,328,256)	(37,694,456)
(売買損益相当額)	(△13,606,256)	(△51,155,026)	(△93,624,614)
分配準備積立金	47,978,062	42,994,316	43,228,290
繰越損益金	△93,598,807	△129,027,756	△75,364,581

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 分配金の計算過程

項目	第1期	第2期	第3期
(a) 経費控除後の配当等収益	47,978,062円	13,391,408円	18,436,397円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	2,221,202	17,328,256	37,694,456
(d) 分配準備積立金	0	42,153,611	40,908,686
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	50,199,264	72,873,275	97,039,539
(f) 1万口当たり当期分配対象額	236.52	290.32	301.05
(g) 分配金	0	12,550,703	16,116,793
(h) 1万口当たり分配金	0	50	50

■分配金のお知らせ

決　　算　　期	第　1　期	第　2　期	第　3　期
1万口当たり分配金	－円	50円	50円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。

○分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。

○分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

＜補足情報＞

■Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩの内容

Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩは、Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）の決算日時点でアニュアルレポートが発行されていないため、費用の内訳等のデータはございません。

以下は、Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）が投資を行っているＯｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩの現地2019年３月15日現在の有価証券明細です。

銘柄分類	通貨	評価額（円）
COMMON STOCKS		
Commodity		
INVESCO DB OIL FUND	U.S. DOLLAR	79,791,746
ISHARES GOLD TRUST	U.S. DOLLAR	78,825,729
Commodity　小計		158,617,475
Corp/Pref-High Yield		
ISHARES USD SHORT	U.S. DOLLAR	351,365,965
Corp/Pref-High Yield　小計		351,365,965
Emerging Market-Debt		
ISHARES JPM EM BND	U.S. DOLLAR	503,280,014
Emerging Market-Debt　小計		503,280,014
Exchange Traded Fund		
ISHARES GLOBAL REIT	U.S. DOLLAR	244,575,189
Exchange Traded Fund　小計		244,575,189
Geo Focus-Debt		
ISHARES HIGH YLD COR	EURO	204,174,043
Geo Focus-Debt　小計		204,174,043
COMMON STOCKS　合計		**1,462,012,686**
FUND LEVEL		
EUR FORWARD		
EUR FW	EURO	△164,340,075
EUR FORWARD　小計		△164,340,075
GBP FORWARD		
GBP FW	BRITISH POUND	13,297,438
GBP FORWARD　小計		13,297,438
USD FORWARD		
USD FW	U.S. DOLLAR	△432,190,478
USD FORWARD　小計		△432,190,478
FUND LEVEL　合計		**△583,233,115**

銘柄分類		通貨	評価額（円）
FUTURES			
	FUTURES		
	EURO BTP ITALIAN	EURO	1,223,260
	EURO STOXX 50	EURO	3,188,310
	EURO-BUND 10 YR FUT	EURO	176,918
	EURO-OAT FUTURE	EURO	1,369,849
	LONG GILT FUTURE	BRITISH POUND	△85,917
	MSCI EMG MKT IND FUT	U.S. DOLLAR	2,741,398
	S&P 500 EMINI FUT	U.S. DOLLAR	3,047,950
	TOPIX INDEX FUTURE	JAPANESE YEN	△1,231,800
	US 10YR NOTE FUTURE	U.S. DOLLAR	835,557
	FUTURES　小計		11,265,525
	MARGIN		
	EUR MARGIN	EURO	39,401,472
	GBP MARGIN	BRITISH POUND	2,650,685
	JPY MARGIN	JAPANESE YEN	24,402,000
	USD MARGIN	U.S. DOLLAR	50,755,855
	MARGIN　小計		117,210,012
	FUTURES　合計		**128,475,537**
FX CASH BALANCES			
	UnGrouped Security		
	BRITISH POUNDS	BRITISH POUND	5,519,246
	EURO	EURO	106,912,473
	UNITED STATES DOLLAR	U.S. DOLLAR	99,783,947
	UnGrouped Security　小計		212,215,666
	FX CASH BALANCES　合計		**212,215,666**
	ポートフォリオ合計		**1,219,470,774**

（注１）米国みずほ銀行のデータをもとに、アセットマネジメントＯｎｅが作成したものです。
（注２）上記明細は、Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）が投資対象とするＯｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ全体の内容です。

ＤＩＡＭマネーマザーファンド

運用報告書

第９期（決算日　2018年４月５日）

（計算期間　2017年４月６日～2018年４月５日）

ＤＩＡＭマネーマザーファンドの第９期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにＣＤ、ＣＰ、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10％以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率				
	円	%	%	%	%	百万円
５期(2014年４月７日)	10,080	0.1	93.9	－	－	10,998
６期(2015年４月６日)	10,090	0.1	82.8	－	－	9,524
７期(2016年４月５日)	10,098	0.1	80.6	－	－	3,158
８期(2017年４月５日)	10,104	0.1	71.2	－	－	1,045
９期(2018年４月５日)	10,099	△0.0	71.1	－	－	1,030

（注１）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注２）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。
（注３）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

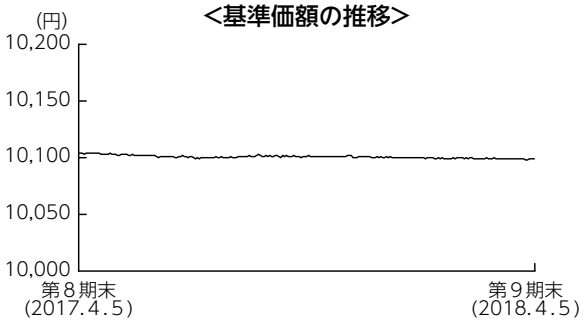
■当期中の基準価額の推移

年　月　日	基準価額		債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)組入比率	債券先物比率
		騰落率			
(期　首)	円	%	%	%	%
2017年 4 月 5 日	10,104	－	71.2	－	－
4　月　末	10,104	0.0	71.2	－	－
5　月　末	10,102	△0.0	80.2	－	－
6　月　末	10,100	△0.0	77.9	－	－
7　月　末	10,100	△0.0	76.1	－	－
8　月　末	10,102	△0.0	56.9	－	－
9　月　末	10,101	△0.0	65.2	－	－
10　月　末	10,101	△0.0	77.6	－	－
11　月　末	10,100	△0.0	77.6	－	－
12　月　末	10,100	△0.0	70.1	－	－
2018年 1　月　末	10,100	△0.0	70.1	－	－
2　月　末	10,099	△0.0	79.5	－	－
3　月　末	10,098	△0.1	71.1	－	－
(期　末)					
2018年 4 月 5 日	10,099	△0.0	71.1	－	－

(注１) 騰落率は期首比です。
(注２) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2017年４月６日から2018年４月５日まで）

<基準価額の推移>



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,099円となり、前期末比で0.05％下落しました。

基準価額の主な変動要因

日銀のマイナス金利政策の影響により残存期間の短い政府保証債等の利回りが上昇（価格は下落）したことから、基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、３ヵ月国庫短期証券利回りは△0.25％～△0.09％で推移しました。2017年８月から11月末の間には需給要因から利回りが上下する局面もありましたが、概ね△0.15％を中心としたレンジで推移しました。

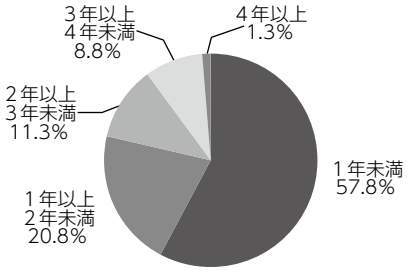
ポートフォリオについて

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

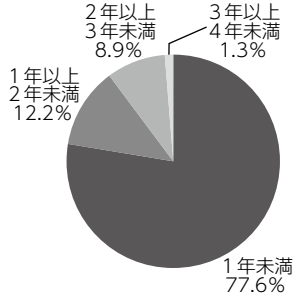
【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比

期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀の金融政策の物価目標２％までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを中心に運用を行います。

■１万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■売買及び取引の状況（2017年４月６日から2018年４月５日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	300,097	100,016 (200,000)
	地方債証券	17,719	－ (68,770)
	特殊債券	405,052	－ (360,000)

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2017年４月６日から2018年４月５日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	130,780	131,175	12.7	－	－	2.8	10.0
特殊債券	595,000	601,037	58.3	－	－	4.5	53.8
合計	725,780	732,213	71.1	－	－	7.3	63.8

（注）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第２位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
（地方債証券）	%	千円	千円	
２５年度６回　静岡県公募公債	0.3420	13,250	13,265	2018/08/23
２５年度　京都府京都みらい債	0.3000	6,000	5,999	2018/09/03
２５年度１回　ぐんま県民債	0.2600	4,000	3,998	2018/10/30
2回　東京都公募公債（東京グローバル都債（円貨））	0.1200	5,000	4,996	2018/12/07
２５年度８回　福岡県公募公債	0.2700	6,700	6,696	2018/12/25
２６年度４回　静岡県公募公債	0.2090	14,810	14,842	2019/06/24
２６年度１回　大阪市みおつくし債	0.2200	6,000	5,992	2019/06/27
２１年度６回　愛知県公募公債	1.4400	10,000	10,185	2019/07/30
２６年度　京都府京都みらい債	0.1600	9,200	9,179	2019/09/02
３３１回　大阪府公募公債	1.4100	10,000	10,216	2019/10/29
２６年度７回　福岡県公募公債	0.2000	6,500	6,486	2019/12/25
４３回　川崎市公募公債　５年	0.1370	10,850	10,872	2020/03/19
２７年度２回　千葉県公募公債	0.1770	14,670	14,715	2020/05/25
２７年度　京都府京都みらい債	0.1000	13,800	13,726	2020/09/02
小計	－	130,780	131,175	－
（特殊債券）	%	千円	千円	
１９４回　政保中小企業債券	1.5000	100,000	100,695	2018/09/18
１回　政保地方公営企業金融機構債券	1.6000	100,000	100,865	2018/10/16
１９９回　政保預金保険機構債券	0.1000	100,000	100,068	2018/10/16
７１回　政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	100,000	101,033	2018/12/25
１５回　政保東日本高速道路債券	1.3000	100,000	101,187	2019/02/25
５５回　政保関西国際空港債	1.3000	29,000	29,373	2019/03/25

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
（特殊債券）	%	千円	千円	
８９回　政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	4,000	4,079	2019/09/30
９３回　政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	8,000	8,189	2019/11/29
１００回　政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	9,000	9,244	2020/02/28
１１２回　政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.1000	30,000	30,786	2020/07/31
１１７回　政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.0000	6,000	6,153	2020/09/30
１３３回　政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	5,000	5,203	2021/04/30
１３７回　政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.2000	4,000	4,158	2021/06/30
小計	－	595,000	601,037	－
合計	－	725,780	732,213	－

■投資信託財産の構成

2018年４月５日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	732,213	71.1
コール・ローン等、その他	298,257	28.9
投資信託財産総額	1,030,471	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年４月５日)現在

項目	当期末
(A) 資産	**1,030,471,057円**
コール・ローン等	296,878,113
公社債(評価額)	732,213,335
未収利息	1,083,993
前払費用	295,616
(B) 負債	**－**
(C) 純資産総額(A－B)	**1,030,471,057**
元本	1,020,388,428
次期繰越損益金	10,082,629
(D) 受益権総口数	**1,020,388,428口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**10,099円**

(注１) 期首元本額 1,034,991,821円
追加設定元本額 5,445,811円
一部解約元本額 20,049,204円

(注２) 期末における元本の内訳

クルーズコントロール	990,000,991円
ダイナミック・ナビゲーション	98,711円
ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）<円コース>	1,281,836円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）<豪ドルコース>	246,797円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）<ブラジルレアルコース>	1,689,581円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）<中国元コース>	654,944円
ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
ネット証券専用ファンドシリーズ　新興市場日本株　レアル型	103,986円
ＤＩＡＭ　グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド　資源国通貨バスケットコース	4,486,988円
ＤＩＡＭ　グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド　ブラジルレアルコース	4,586,699円
ＤＩＡＭ　グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド　円コース	997,109円
ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
ＤＩＡＭ　米国リート・インカムプラス	994,728円
ＵＳストラテジック・インカム・ファンドＡコース（為替ヘッジあり）	993,740円
ＵＳストラテジック・インカム・ファンドＢコース（為替ヘッジなし）	1,987,479円
ＤＩＡＭ－ジャナス　グローバル債券コアプラス・ファンド<ＤＣ年金>	9,935円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）円コース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）米ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）豪ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）メキシコペソコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）トルコリラコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）ブラジルレアルコース	9,925円
ＵＳストラテジック・インカム・ファンド（年１回決算型）ヘッジあり	9,924円
ＵＳストラテジック・インカム・ファンド（年１回決算型）ヘッジなし	9,924円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジあり>	9,909円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジなし>	9,909円
期末元本合計	1,020,388,428円

■損益の状況

当期　自2017年４月６日　至2018年４月５日

項目	当期
(A) 配当等収益	**6,427,083円**
受取利息	6,637,040
支払利息	△209,957
(B) 有価証券売買損益	**△6,932,206**
売買益	21,813
売買損	△6,954,019
(C) 当期損益金(A＋B)	**△505,123**
(D) 前期繰越損益金	**10,735,046**
(E) 解約差損益金	**△201,483**
(F) 追加信託差損益金	**54,189**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**10,082,629**
次期繰越損益金(G)	**10,082,629**

(注１) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注２) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
(注３) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

■つみたてＮＩＳＡの要件を満たすため、約款に所要の変更を行いました。

（平成29年９月29日）

■信用リスクを適正に管理する方法を規定する所要の約款変更を行いました。

（平成30年３月１日）